

## ゾーン30整備（平尾校区）

- 子ども達の安全安心な通行を確保するため、小学校を中心としたエリアで、車の最高速度を時速30キロに規制する「ゾーン30」を警察署と協力して整備しました。（2015年10月整備）
- 車の速度を物理的に抑制させる取り組みとして、小学校や高校前の道路でハンプの実証実験を行いました。（2017年11月実証実験）

### ■位置図



### ■整備状況



エリア入口にゾーン30の路面標示



学校直近の交差点をカラー化

### ■ハンプ実証実験の実施

ハンプと狭さくを仮設して、車の速度を物理的に抑制させる実証実験を実施。



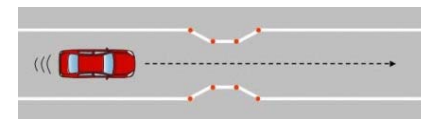
ハンプとは？

道路の一部を盛り上げ、凸状の緩やかな段差を設ける道路構造。



狭さくとは？

車両の走行幅を狭める道路構造。



### ■地域の声



沿道に保育園・小学校・高校があり、登下校時間帯は児童も車も多く危険なので、車のスピードが落ちることで安全になった。



## エスコートゾーン整備（天神地区）

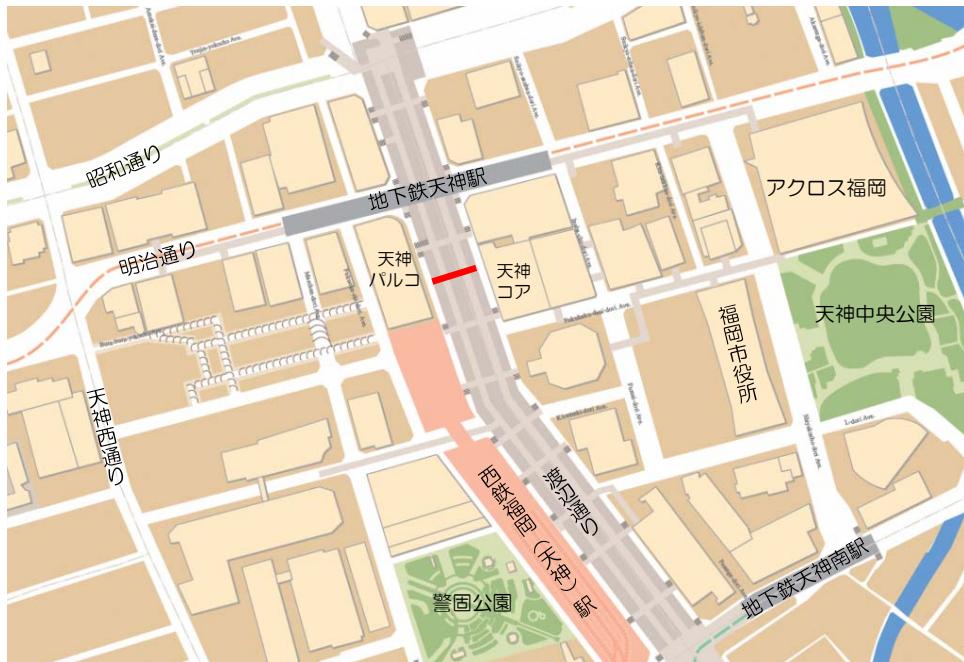
- ・視覚障がい者の利用頻度が多い施設の周辺や設置の必要性が高い横断歩道において、**視覚障がい者の移動をサポートするため**、エスコートゾーンの整備を行っています。
- ・西鉄福岡(天神)駅近くで利用者が多く、横断距離の長い渡辺通りにおいて、エスコートゾーンを整備しました。  
(2017年8月整備)

### エスコートゾーンとは？

横断歩道に設置して、視覚障がい者が横断方向の手がかりとする突起形状の道路横断帯のこと。



### ■位置図

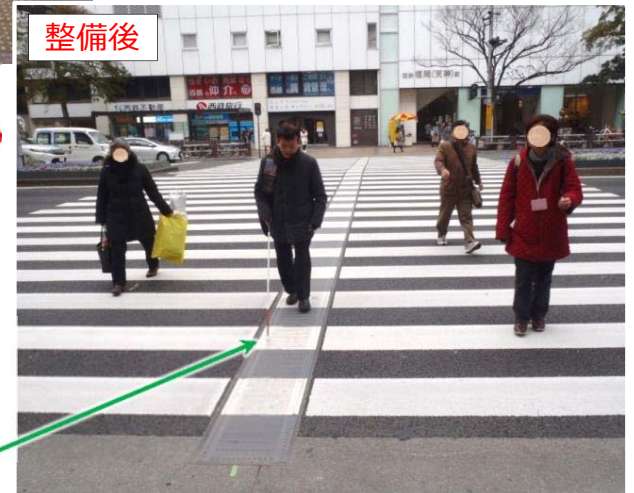


### ■整備状況



整備前

横断距離が非常に長いため、進行方向がずれやすく危険。



整備後

横断歩道の中央部にエスコートゾーンを設置

### ■利用者の声



横断歩道にまっすぐに整備されており非常に歩きやすく、よく利用する横断歩道なので助かっている。

### ■担当者の声



視覚障がい者の方と一緒に歩いてみて、横断歩道での危険性やエスコートゾーンの大切さを感じました。

## 手すりの整備

- ・ 高齢者や身体に障がいがある方の移動をサポートするため、急な坂道の道路において、手すりの整備を行っています。
- ・ 地下鉄桜坂駅近くにおいて、駅への近道で利用者が多く、急な坂道となっている道路の手すりを整備しました。  
(2017年3月整備)

### ■ 位置図



### ■ 整備状況



周囲には高齢者も多く、急な坂道で上り下りが大変。



道路の端に手すりを整備

### ■ 地域の声



急な坂道で上るのがきつかったため、緩やかな坂道へ遠回りしていたが、手すりのおかげで楽になった。

### ■ 担当者の声



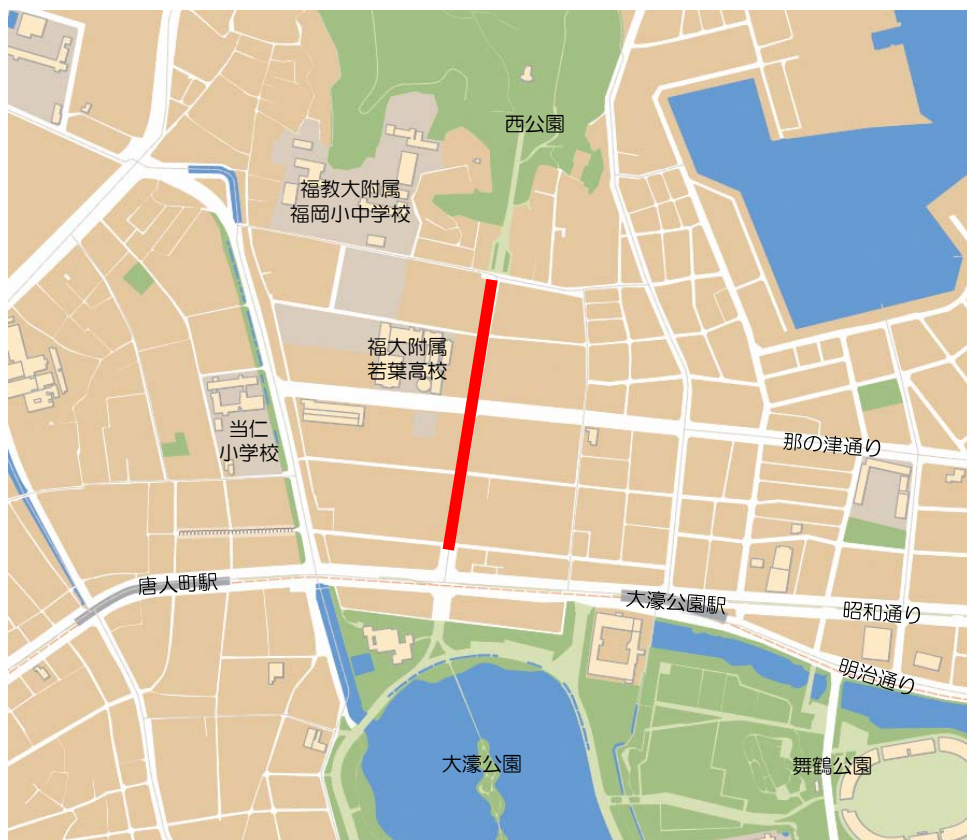
高齢化が進むなか、高齢者の活動を支える取組を進めていきます。



## 道路のバリアフリー化（県道谷荒戸線）

- ・ 誰もが安全で快適に歩けるよう、歩道のフラット化などユニバーサルデザインに基づいた道路整備を進めています。
- ・ 大濠公園と西公園を結ぶ県道谷荒戸線では、波打っていた歩道をフラットに整備し、水はけが良く景観に配慮した自然色の透水性舗装で整備しました。（2017年5月整備完了）

### ■ 位置図



### ■ 整備状況



整備前



整備後

- ・ 視覚障がい者ブロックの整備
- ・ 水はけがよく景観に配慮した自然色の透水性舗装へ
- ・ 波打っていた歩道をフラット化

### ■ 利用者の声



歩道が平らになり水はけも良くなったので、とても歩きやすくなりました。

### ■ 担当者の声



バリアフリーを重点的に進めていく地区内の道路から優先的に整備を進めています。

## 交通安全施設の整備

### ■カーブミラー

- ・見通しの悪い交差点やカーブなどで、安全確認の補助施設として、カーブミラーを設置しています。



### ■照明灯

- ・幹線道路（交通量の多い道路）や生活道路の変則交差点など、夜間の視認性向上のために、道路照明灯を整備しています。



### ■防護柵

- ・歩行者の保護や車の事故防止のために、防護柵を設置しています。



### ■地域の声



以前より安全になって、安心して道路を利用できるようになった。

### ■担当者の声



この他にも、道路のカラー化や注意喚起の表示など、より安全安心を目指し色々な事業に取り組んでいます。